

# 防災・減災の取り組み強化

## 早急な土砂災害・噴火対策を

**神奈川県議会議員  
民主党・かながわクラブ きしひべ 都**

東日本大震災から4年が経過しました。今後は地震だけではなく、昨年8月の広島市で起きた豪雨災害、9月の御嶽山噴火災害などの自然災害への対策も進めています。いかなければなりません。

県内では1万831の土砂災害危険箇所のうち、約6割の6819箇所を「土砂災害警戒区域」に指定しています。残りの4割も今年度中に基礎調査を終えるよう提言しました。新たに土砂災害が発生する恐れのある区域を明らかにし、危険を周知することなどの対

策の推進も求めていきます。  
県の温泉地学研究所によると、富士山が噴火すると、神奈川はすべて灰に覆われ、1兆2千億円の被害が出ると言られています。1cmの降灰でも車は運転できなくなるそうですが、県内では40万人が堅牢な建物への避難が必要な30cm以上の被害を受けると想定されます。交通・通信、水道などインフラへの影響も心配され、交通・通信、水道などインフラへの影響も心配され、

れる中、県は昨年10月に富士山・箱根噴火災害対策として静岡県・山梨県との合同訓練を実施。今年度予算案にも箱根地域の火山監視機能強化や訓練などを盛り込みました。



みなさまからのご意見、  
ご要望をお待ちしています

きしひべ都政務活動事務所

南区通町2-25-3 千々輪ビル1階

**☎045-341-3385**

<http://kishibe-miyako.com/>

これからも安心して暮らせるまちづくりを進めます。